

■令和4年度 議会活性化特別委員会行政視察報告

委員 豊田 朗

茨城県取手市

ICTを活用した議会災害対応訓練等について

議会活性化特別委員会では、4月19日に、茨城県取手市へICTを活用した議会災害対応訓練等について行政視察を行いました。

取手市では、東日本大震災時に議員と議会の情報伝達に支障をきたした経験から議会災害対応規程を制定、令和3年2月にはICTを活用した議会災害対応訓練を実施し、オンラインによる議会对策会議を行うなど実践的に取り組んでおります。

また、議会改革を積極的に進め、オンラインビデオ会議システムの導入やタブレット等のICT技術の積極的な活用が進められています。

この度の行政視察は、本市が予定している「災害時における議会の役割」の検討に向け、今後の議論に生かすために実施したものであります。

取手市では、令和3年2月に「議会災害対応規程」に基づく行動を、有事の際にも取ることができるよう議会災害対応訓練を実施しました。訓練は、災害時の被害情報の収集と共有のほか、タブレット等による対応方法等を確認し議員自身が有事の際にも冷静に行動がとれるようにすることが目的で行われました。訓練日のみ事前に周知し、訓練時刻については伝えられない状況下で行われ、議員からの安否確認の報告についてメールやLINEを活用したほか、タブレット等からの情報集約と共有方法を確認する訓練を行いました。

中越大震災を経験した本市ですが、当時の状況や経験を踏まえ、取手市とは面積や人口規模、自然環境も異なることから、本市の実態に合ったLINE等のICT技術を活用することは有効な手段であると感じました。

次に、委員会のオンライン会議等についてです。令和2年4月に今般の新型コロナウイルス感染症による国の緊急事態宣言の発令を受け、取手市議会感染症対策会議をオンラインで開催しております。また、災害発生時や感染症のまん延等のやむを得ない理由がある場合においても議会機能を停止させないよう、オンライン会議システムによる委員会出席を認め、会議室に集まることなく、議事に参加できるよう会議規則及び委員会条例を改正しております。

本市は、現在のコロナ禍においては会議室の過密を防ぐため、委員外議員は控室でインターネット中継を視聴するなど、対策をとっておりますが、取手市のオンライン会議システムを用いた取組は、感染防止の観点からリスクを排除しており、本市においても災害や感染症のまん延等の緊急事態発生時の対策として一考すべきと感じました。また、議案審議において議案内容に関する施設の状況を、現地とオンライン中継で結び説明を受ける取組も採用しており、委員会室から現地の状況について説明を受けながら審議ができる点については、大変参考になるものであります。



取手市役所